

一般質問

健康長寿の現状と問題点について



佐伯 欣子 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 要介護と要支援の認定状況について。

答 令和元年10月末現在の認定者は2,939名、認定区分ごとでは要支援1が346名、要支援2が608名、要介護1から5が計1,985名です。要支援、特に要支

援2が大きくふえています。

問 小規模多機能型居宅介護施設について。

答 一般家庭で生活するような形で、短期入所、デイサービス、ホームヘルプ等のサービスを一体的に利用できる施設です。各中学校区に1事業所を整備し、北条地区はさらに2事業所ができて6事業所、加えて、善防地区に看護も含めた多機能型の施設が1事業所あります。

問 増加する要支援の方のサービスの受け皿は。

答 総合事業と呼ばれる介護保険給付の枠外であるサービスや一般介護予防事業による対応、地域で行っている体操事業等に参加していただくような対応ができればと考えています。

問 障害を持つ高齢者のサービス利用について。

答 介護保険事業所で障害サービスが提供ができる等、区分を超えたサービスを国も進めており、できる限り切れ目のないサービス提供ができるように進めたいと考えています。

観光イベントについて



下江 一将 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 外から人を呼び込むことを目的として開催されたイベントにどういったものがあるか。

答 令和元年6月から第1第3日曜日の鶉野飛行場跡地において紫電改の実物大模型の一般公開をしています。その他、加西

サイサイまつり、グリーンパークトライアスロンin加西、カサイチfanライド、ハッピーバルーンクリスマスがあります。

問 加西と言えばこれだというものがあるとしてもよいと考えます。今後さらに特産品として開発、推し進めたいもの及びPR方法は。

答 加西市とJA兵庫みらい、加西商工会議所で構成する加西ブランド協議会を中心に進めたいと考えています。令和元年度は加西産のぶどう、トマトを原料とした羊羹をつくり、カサイチfan

ライドの休憩所で参加選手に提供をしています。

問 特産品をイベントで販売、PRすることは課を超えた連携が必要である。今後はどのような連携を考えているか。

答 カサイチfanライドでは、振る舞う場としてエイドステーションを設け、その一つには農政課の職員も参加しました。必要に応じた横連携を模索しながらイベントの強化という形で進んでいきたいと考えています。

「親亡き後」の障がい者支援等について



丸岡 弘満 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 善防園の利用者が高齢化している。親亡き後を非常に心配されているが受入先はどうなっているのか。定員いっぱいでは利用できない上、短期入所の利用も難しく家族は苦労している。

答 障がいをお持ちの方の親御さんが亡くなられた場合、

介護する方がいなくなり、障がいの程度によりますが一人で生活することが難しくなってしまいます。市内の入所施設は1事業所(加西の利用者は3分の1)、グループホームは2事業所が運営(加西の利用者は半数)で、常に定員いっぱい以上の状況が続いています。

問 地域生活支援事業の法律からも拠点整備をしなければならぬ。市は第5期の障害福祉計画で令和2年度末までに1カ所整備する目標を立てているが、もう時間もない。市は整備できるのか。

答 今現在、具体的な動きはありませんが、遠方にある事業所を利用しなくても近くに事業所があれば、議員ご指摘のように保護者の方等々の負担軽減につながることは理解しています。できる限り計画どおり進めるような形で行っていきます。

■その他の質問項目

- ・加西病院の今後について
- ・PTAの負担軽減(給食費の公会計化)について
- ・教師間いじめについて
- ・県市道の整備状況について